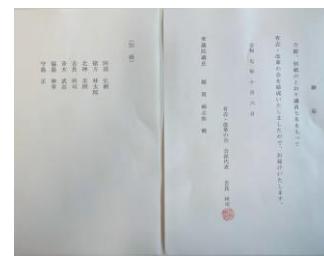


福島のぶゆき国会日誌

【新会派「有志・改革の会」結成】

● 7人で新会派「有志・改革の会」を結成しました！



6日、「有志の会」と「改革の会」とが合同会派「有志・改革の会」を結成しました。有志・改革の会は、これまでの有志の会のメンバーに、阿部弘樹議員（福岡4区・精神科医・元津屋崎町長）、斎木武志議員（福井2区・元NHKアナウンサーの当選同期）、守島正議員（大阪2区・元新日鉄勤務で元大阪市議）を加えて7人の会派となります。



解説動画も是非ご覧ください！

これから大きく政局が動く可能性が高い中で、7人が結束して行動することによる日本の政治に与える影響の大きさを考えて、大局的観点から共同会派を結成することを決断いたしました。政界再編の礎となることができるよう、身を捨てても行動してまいる覚悟です。今後の有志・改革の会の国会での行動に、是非ともご注目ください。

【国会活動】

●「STOP！インボイス」の街頭演説に参加しました！



1日、インボイス制度の導入によって、零細事業者も課税事業者の選択をせざるを得なくなっています。もう間もなく経過措置が終われば、10%の税率が課せられます。諸悪の根源の複数税率制から生まれたインボイス制度を根本から見直さなければなりません。

●副会長を務める人道外交議連で議論を行いました！

1日、人道外交議連として精力的にパレスチナの停戦に向けた活動を行うなかで、清田国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）保健局長とオンラインで繋いでヒアリングを行いました。現地の状況はもう悲惨を通り越して、この世の地獄です。外務省に、なぜ国家承認しないのか詰めた議論をしましたが、要領をえない回答しかありませんでした。



●超党派日本ウイグル国会議員連盟でヒアリングを行いました！

30日、学識者やジャーナリストからウイグルを巡る歴史的経緯や現在の状況についてヒアリングを行い、レテブ・アフメット日本ウイグル協会会长からもご意見を伺いました。

